

「JPX日経インデックス400」 ～銘柄入れ替えについて～

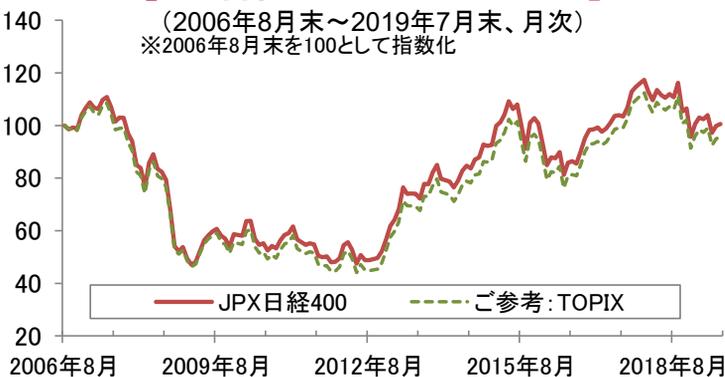
8月7日、株価指数「JPX日経インデックス400(以下、JPX日経400)」の構成銘柄の定期入れ替えが発表されました。なお、銘柄入れ替えの実施日は8月30日です。今回の入れ替えでは、「ツムラ」や「日産自動車」など28銘柄が除外され、「ジェイエシーリクルートメント」や「日本マクドナルドホールディングス」などの31銘柄が新たに採用されます。これに伴い、構成銘柄の上場廃止(非定期の除外)により足元で397銘柄で構成されているJPX日経400は、定期入れ替え実施後、400銘柄で算出されることとなります(追加、除外銘柄の一覧は、次ページをご参照ください)。

JPX日経400は、東京証券取引所(東証第一部、東証第二部、マザーズ、JASDAQ)に上場する企業の中から400社を選び出して算出される株価指数で、毎年8月に定期の銘柄見直しが行なわれます。日本の株式市場全体の動きを反映するTOPIX(東証株価指数)や、主に流動性の高さを基準として225銘柄が選定される日経平均株価に対し、JPX日経400は、株主の投資資金がどのくらい効率的に使われているかを示す指標であるROE(自己資本利益率)やコーポレートガバナンスの体制など、海外投資家も重視する項目が銘柄選定基準となっています。

JPX日経400は、収益・経営面で評価の高い銘柄で構成されていることもあり、世界最大級の年金基金であるGPIF(年金積立金管理運用独立行政法人)が、ベンチマーク(運用指標)の一つとして採用しています。また、日本銀行は、JPX日経400に連動するETF(上場投資信託)を買入れ対象の一つとしています。なお、機関投資家だけでなく、JPX日経400の採用銘柄に投資を行なう投資信託などを通じて、個人の投資にも活用されています。

【JPX日経400のパフォーマンス】

(2006年8月末～2019年7月末、月次)
※2006年8月末を100として指数化



2006年8月31日～13年8月29日のJPX日経400のデータは、日本取引所グループ、東京証券取引所および日本経済新聞社が指数算出要領と一部異なる方法で算出した試算値です。

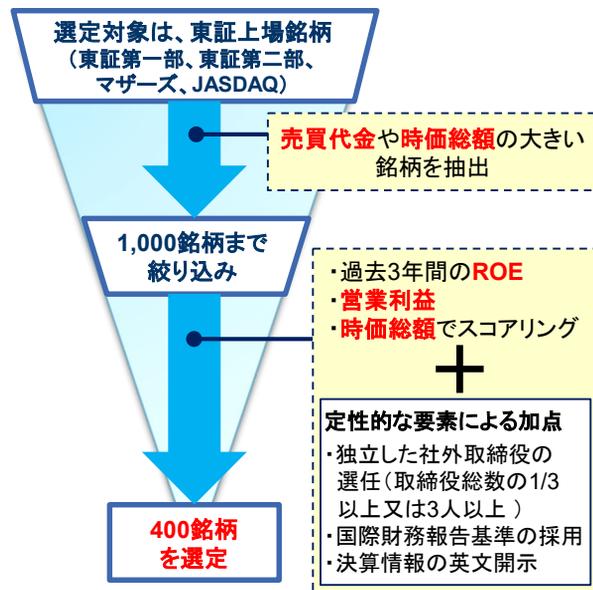
【JPX日経400のROE】

(2019年7月31日現在)

JPX日経インデックス400	【ご参考】TOPIX
9.1%	8.3%

(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

【JPX日経400の銘柄選定プロセス】



(東京証券取引所および日本経済新聞社の情報をもとに日興アセットマネジメントが作成したものであり、銘柄選定プロセスを簡略的に記載したものです。)

※個別銘柄に言及していますが、当該銘柄の売買等を推奨するものではありません。また、当社のファンドにおける保有、非保有、および将来の個別銘柄の組み入れまたは売却を示唆するものではありません。
※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

日興アセットマネジメント

■当資料は、日興アセットマネジメントが市況等についてお伝えすることを目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

【「JPX日経インデックス400」構成銘柄：定期入れ替え銘柄(2019年8月)】

【追加銘柄(31銘柄)】

市場第一部 (28銘柄)
ジェイエイシーリクルートメント
エス・エム・エス
ベネフィット・ワン
アウトソーシング
アリアケジャパン
ダイワボウホールディングス
TOKAIホールディングス
コメダホールディングス
GMOペイメントゲートウェイ
アカツキ
トクヤマ
日本新薬
ペプチドリーム
デジタルガレージ
東海カーボン
東芝テック
日新電機
アズビル
レーザーテック
太陽誘電
IHI
日本ライフライン
ブイ・テクノロジー
東京精密
ニコン
タカラトミー
ゴールドウイン
日本空港ビルデング

【除外銘柄(28銘柄)】

市場第一部 (28銘柄)
前田道路
アダストリア
日本パーカライズング
日本ゼオン
ツムラ
東京製鐵
三菱マテリアル
日本発條
荏原製作所
樺本チエイン
タダノ
平和
ホシザキ
九州フィナンシャルグループ
日産自動車
NOK
アシックス
阪和興業
東邦ホールディングス
日本瓦斯
静岡銀行
広島銀行
日立キャピタル
東海東京フィナンシャル・ホールディングス
レオパレス21
GMOインターネット
東邦瓦斯
イオンディライト

JASDAQ (3銘柄)
UTグループ
日本マクドナルドホールディングス
ワークマン

出所：東京証券取引所および日本経済新聞社

※ 個別銘柄を掲載していますが、当該銘柄の売買等を推奨するものではありません。また、当社のファンドにおける保有、非保有、および将来の個別銘柄の組入れまたは売却を示唆するものでもありません。

【「JPX日経インデックス400」の著作権等について】

JPX日経インデックス400は、日本経済新聞社(以下「日経」という)と日本取引所グループ(以下、「JPX」という)、東京証券取引所(以下、「東証」という)(以下、「JPX」と「東証」を総称して「JPXグループ」という)によって独自に開発された手法によって算出される著作物であり、日経とJPXグループは、JPX日経インデックス400自体及びJPX日経インデックス400等を算定する手法並びにその構成銘柄(関連する情報を含む)に対する著作権及び知的財産権並びに指数等の表示に対する商標権その他の知的財産権を有しています。「日経」「NIKKEI」の表示に対する商標権その他の知的財産権はすべて日経に、また「JPX」「東証」「TSE」の表示に対する商標権その他の知的財産権はすべてJPXグループに、それぞれ帰属しています。日経とJPXグループは、JPX日経インデックス400を継続的に公表する義務を負うものではなく、公表の誤謬、遅延又は中断に関して、責任を負いません。日経とJPXグループは、JPX日経インデックス400の計算方法など、その内容を変える権利及び公表を停止する権利を有しています。日経とJPXグループはJPX日経インデックス400を対象としたすべての金融商品等に対して、それらを保証するものではなく、一切の責任を負いません。

■ 当資料は、日興アセットマネジメントが市況等についてお伝えすることを目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■ 投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。